

目次

ew 300/500 G4 製品セット一覧	6
プリセットバンク周波数一覧	9
EM 300-500 G4 のセットアップ	10
デバイスの背面のコネクター	10
EM 300-500 G4 を電源システムと接続する / 接続を切る	11
データネットワーク作成	12
オーディオ信号の出力	13
アンテナの接続	14
EM 300-500 G4 のラック設置	15
SKM 300/500 G4 のセットアップ	18
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し	18
マイクモジュールの交換	20
SK 300/500 G4 のセットアップ	21
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し	21
マイクを SK 300/500 G4 に接続する	23
楽器やラインソースを SK 300/500 G4 に接続する	24
RMS 1 ミュートボタンを SK 300 G4 に接続する (SK 300 G4 のみ).....	25
ボディバック型送信機を衣服に装着する	26
EM 300-500 G4 の使用	27
EM 300-500 G4 各部の名称	27
EM 300-500 G4 の製品前面の概略図	27
EM 300-500 G4 電源のオン / オフ	28
オーディオ出力のミュート	29
ヘッドホン出力の使用	30
EM 300-500 G4 操作方法	31
ディスプレイ概要	32
標準画面① 受信機のパラメーター	32
標準画面② 送信機のパラメーター	34
標準画面③ Soundcheck	34
メニューの概要	36
Squelch メニュー	37
Easy Setup メニュー.....	39
Frequency Preset メニュー.....	40
Name メニュー	41
AF Out メニュー	42
Equalizer メニュー	43
Auto Lock メニュー	44
Advanced -> Tune メニュー	46
Advanced -> Sync Settings メニュー.....	47
Advanced -> Pilot Tone メニュー.....	47

Advanced -> Fullscreen Warnings メニュー	48
Advanced -> Brightness メニュー	48
Advanced -> Reset メニュー	49
Advanced -> IP Address メニュー	49
Advanced -> Software Revision メニュー	49
SKM 300/500 G4 の使用	50
SKM 300/500 G4 各部の名称	50
SKM 300/500 G4 電源のオン / オフ	51
ハンドヘルド送信機の RF ミュート	52
ディスプレイ概要	53
SKM 300/500 G4 操作方法	55
メニュー概要	55
Sensitivity メニュー	55
Frequency Preset メニュー	56
Name メニュー	56
Auto Lock メニュー	57
Advanced -> Tune メニュー	58
Advanced -> Mute Mode メニュー (SKM 300 G4 のみ)	59
Advanced > MIC LED メニュー (SKM 300 G4 のみ)	61
Advanced -> Pilot Tone メニュー	62
Advanced -> LCD Contrast メニュー	62
Advanced -> Reset メニュー	62
Advanced -> Software Revision メニュー	62
SK 300/500 G4 の使用	63
SK 300/500 G4 各部の名称	63
SK 300/500 G4 電源のオン / オフ	64
ボディバック送信機の RF ミュート	65
ディスプレイ概要	66
SK 300/500 G4 操作方法	68
メニュー概要	68
Sensitivity メニュー	68
Frequency Preset メニュー	69
Name メニュー	69
Auto Lock メニュー	70
Advanced -> Tune メニュー	71
Advanced -> Mute Mode メニュー	72
Advanced > MIC LED メニュー (SK 300 G4 のみ)	76
Advanced -> Pilot Tone メニュー	77
Advanced -> LCD Contrast メニュー	77
Advanced -> Reset のメニュー	77
Advanced -> Software Revision メニュー	77
デバイスの同期	78
プリセットバンク周波数一覧	80

仕様	82
EM 300-500 G4	82
SKM 300 G4	84
SKM 500 G4	85
SK 300 G4	86
SK 500 G4	87
ピン割り当て	88
クリーニングとメンテナンス	90

ew 300/500 G4 製品セット一覧

EM 300-500 G4 ダイバーシティ受信機



EM 300-500 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になります。

- セットアップ: 「EM 300-500 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「EM 300-500 G4 の使用」
- 仕様: 「EM 300-500 G4」

SK 300 G4 ボディバック送信機

SK 300 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になります。

- セットアップ: 「SK 300 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「SK 300 G4 の使用」
- 仕様: 「SK 300 G4」



SKM 300 G4 ハンドヘルド送信機



SKM 300 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になります。

- セットアップ: 「SKM 300 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「SKM 300 G4 の使用」
- 仕様: 「SKM 300 G4」

SK 500 G4 ボディバック送信機

SK 500 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になります。

- セットアップ: 「SK 500 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「SK 500 G4 の使用」
- 仕様: 「SK 500 G4」



SKM 500 G4 ハンドヘルド送信機



SKM 500 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になります。

- セットアップ: 「SKM 500 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「SKM 500 G4 の使用」
- 仕様: 「SKM 500 G4」

接続ケーブル、楽器用ケーブル

楽器とラインソースを SK 300 G4 および SK 500 G4 ボディパック型送信機に接続する際は以下のケーブルが利用可能です。

- **Sennheiser CL 2**

接続ケーブル (スクリューロック付き 3.5mm ジャック -XLR)

製品番号 004840



- **Sennheiser Ci 1-N**

ギターケーブル (スクリューロック付き 3.5mm ジャック -6.3mm ジャック)

製品番号 005021



ラックマウントアクセサリ

GA 3 ラックマウントキット

EM 100 G4、EM 300-500 G4 を 19 インチラックに取り付けるための
19 インチラックアダプター

製品番号 503167



AM 2 アンテナフロントマウントキット (別売)

M 100 G4、EM 300-500 G4 を GA 3 ラックマウントキットで、ラック
の前面にアンテナ接続する場合のアンテナフロントマウントキット。

製品番号 009912



プリセットバンク周波数一覧

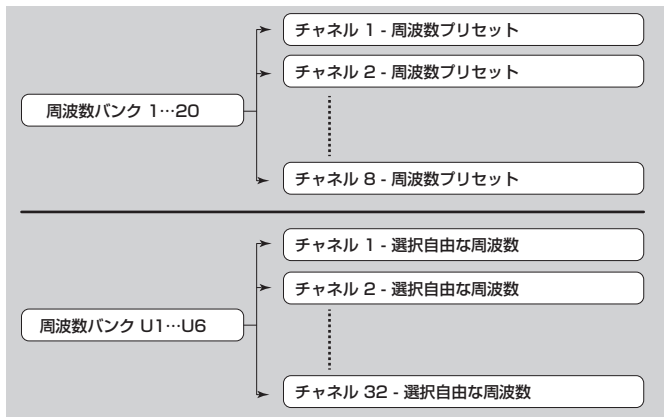
evolution wireless G4 プリセット周波数テーブル



Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6	Bank 7	Bank 8	Bank 9	Bank 10
1	806.125 B11	806.375 B12	806.500 B22	806.125 B11	806.250 B21	806.250 B21	806.625 B31	806.125 B11	806.125 B11	806.125 B11
2	806.875 B32	806.750 B41	807.000 B23	806.500 B22	806.625 B31	806.625 B31	807.125 B13	806.750 B41	806.750 B41	807.250 B61
3	807.375 B33	807.250 B61	807.750 B14	807.000 B23	807.125 B13	807.625 B51	807.875 B24	807.250 B61	808.000 B43	808.250 B34
4	807.750 B14	807.625 B51	808.375 B53	807.750 B14	807.875 B24	808.000 B43	808.500 B25	808.000 B43	808.375 B53	808.625 B35
5	808.375 B53	808.250 B34	808.875 B26	808.250 B34	808.375 B53	808.750 B54	809.000 B15	808.625 B35	809.125 B44	809.125 B44
6	808.750 B54	808.625 B35	809.250 B36	808.625 B35	808.750 B54	809.250 B36	809.375 B45	809.125 B44	809.500 B16	809.500 B16
7	809.250 B36	809.125 B44		809.250 B36	809.375 B45	809.625 B55		809.500 B16		
8	809.625 B55	809.500 B16			809.625 B55	809.750 B46				
9										
10										
11										
12										

Channel	Bank 11	Bank 12	Bank 13	Bank 14	Bank 15	Bank 16	Bank 17	Bank 18	Bank 19	Bank 20
1	806.500 B22	806.125 B11	806.125 B11	806.500 B22	806.125 B11	806.125 B11	806.250 B21	806.375 B12	806.125 B11	806.250 B21
2	807.000 B23	806.500 B22	806.500 B22	807.000 B23	806.500 B22	806.500 B22	806.625 B31	806.750 B41	806.500 B22	806.750 B41
3	807.750 B14	807.000 B23	807.500 B42	807.750 B14	807.000 B23	807.000 B23	807.125 B13	807.750 B14	807.000 B23	807.125 B13
4	808.375 B53	807.750 B14	807.875 B24	808.625 B35	807.750 B14	807.750 B14	807.875 B24	808.125 B52	807.750 B14	807.750 B14
5	808.875 B26	808.250 B34	808.625 B35	809.625 B55	808.250 B34	808.750 B54	808.875 B26	808.875 B26	808.750 B54	808.500 B25
6	809.250 B36	806.625 B35	809.125 B44		808.625 B35	809.125 B44	809.250 B36	809.375 B45	809.125 B44	808.875 B26
7		809.250 B36	809.500 B16		809.250 B36	809.625 B55	809.750 B46	809.750 B46	809.625 B55	809.375 B45
8		809.625 B55			809.625 B55					809.750 B46
9										
10										
11										
12										

各周波数域には 20 の周波数バンク、最大 8 のチャネルがあります。

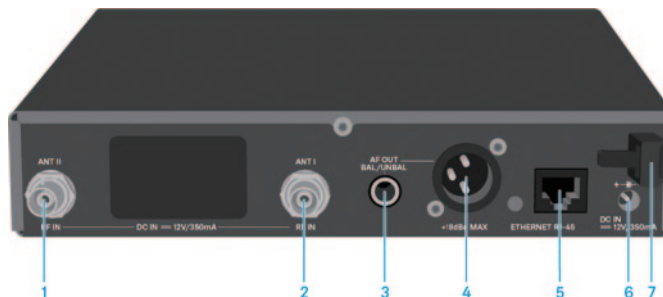


EM 300-500 G4 のセットアップ

本セクションには、EM 300-500 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

デバイスの背面のコネクター

EM 300-500 G4 の製品背面の概略図



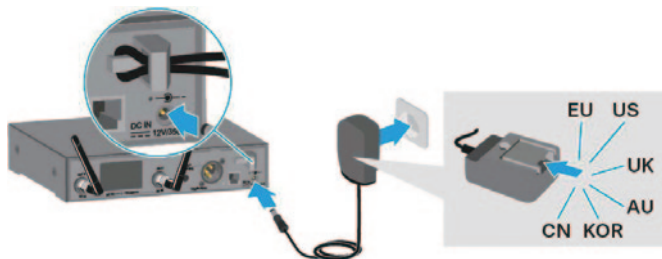
- 1・2 BNC RF アンテナ入力 (I・II)
(※ ASA 214 アンテナスプリッター (別売) 接続の場合受信機電源供給を兼ねる)
- 3 6.3 mmオーディオ出力、アンバランス (AF OUT UNBAL)
- 4 XLR オーディオ出力、バランス (AF OUT BAL)
- 5 LAN ポート (ETHERNET RJ 45)
- 6 ACアダプタ接続ソケット (DC IN)
- 7 電源アダプタケーブルストレーンリリーフ

EM 300-500 G4 を電源システムと接続する / 接続を切る

付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。このユニットはご使用の受信機のために設計され、安全にご使用いただけるようになっています。

EM 300-500 G4 を電源システムと接続するには：

- ▷ AC アダプタのプラグを受信機の **DC IN** ソケットに差し込みます。
- ▷ AC アダプタのケーブルをケーブルグリップに通します。
- ▷ 付属の各国向けアダプターを AC アダプタにスライドさせながら装着します。
- ▷ AC アダプタをコンセントに差し込みます。



EM 300-500 G4 と電源システムとの接続を完全に切るには：

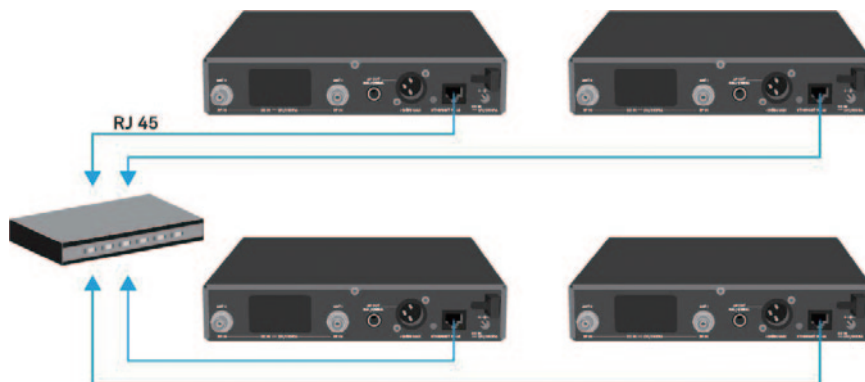
- ▷ AC アダプタを壁のコンセントから外します。
- ▷ AC アダプタのプラグを受信機の **DC IN** ソケットから外します。

データネットワーク作成

ゼンハイザーワイヤレスシステムマネージャー (WSM) ソフトウェアを使って、ネットワーク経由で複数の EM 300-500 G4 を監視、制御することができます。

EM 300-500 G4 をネットワークに接続するには：

- ▷ RJ-45 コネクタ付きネットワークケーブルを、EM 300-500 G4 背面の LAN ポートに接続します。
- ▷ ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークスイッチに接続します。



- i** ゼンハイザーワイヤレスシステムマネージャー (WSM) は www.sennheiser.com/download からダウンロードできます。使用方法につきましてはゼンハイザーワイヤレスシステムマネージャー (WSM) の説明書をご覧ください。説明書はゼンハイザージャパン公式サイトダウンロードページより、入手いただけます。
<https://www.sennheiser.co.jp/>

オーディオ信号の出力

EM 300-500 G4 には、バランス XLR 出力とアンバランス 6.3 mm 出力が付いています。

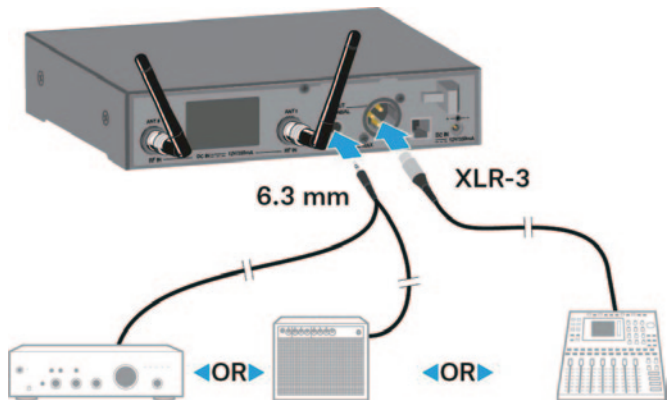
- ▷ 各チャンネルで常に 2 つある **BAL AF OUT** 出力ソケットのうちから 1 つだけを使用してください。

XLR ケーブルを接続するには：

- ▷ XLR ケーブルを EM 300-500 G4 の **AF OUT BAL** ソケットに接続します。

ジャックケーブルを接続するには：

- ▷ ジャックケーブルを EM 300-500 G4 の **AF OUT UNBAL** ソケットに接続します。



アンテナの接続

付属のロッドアンテナの接続は

- ▷ 最初のロッドアンテナを、EM 300-500 G4 背面の **ANT I** ソケットに接続します。
- ▷ 2 番目のロッドアンテナは、EM 300-500 G4 背面の **ANT II** ソケットに接続します。
- ▷ 図に示すようにロッドアンテナを静かにV字型に広げます。



EM 300-500 G4 のラック設置

注意

ラックマウントには危険が伴います。

デバイスを閉鎖型またはマルチラック型のアセンブリに取り付けるときは、操作中の周囲温度、機械的負および電位が、ラックに取り付けられない装置とは異なることにご留意ください

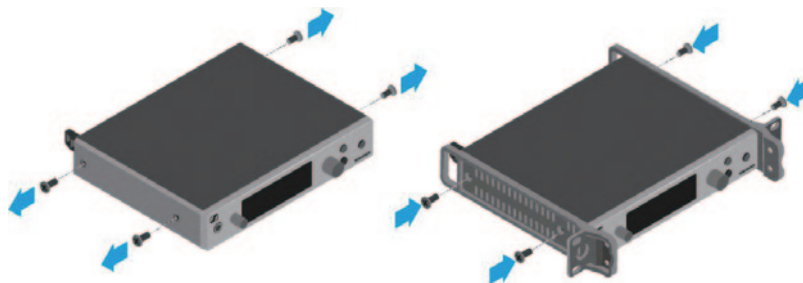
- ▷ ラック内の周囲温度が仕様に規定されている許容温度制限を超えないようにしてください。
 - ▷ 十分な換気を心がけ、必要に応じて換気を繰り返し行ってください
 - ▷ ラックにかかる機械的負荷が均一になるようにしてください
 - ▷ 電源装置に接続するときは、型板に記載されている情報を確認してください。回路に過負荷がかからないようにしてください。必要に応じて過電流保護を行ってください。
 - ▷ ラックに取り付ける際には、個々の電源ユニットからリークする電流それ自体は無害ですが、蓄積して許容限界値を越えることもありますのでご注意ください。対処法として、追加のアースでラックを接地してください。
-

受信機を 1 台単独でラックに設置する

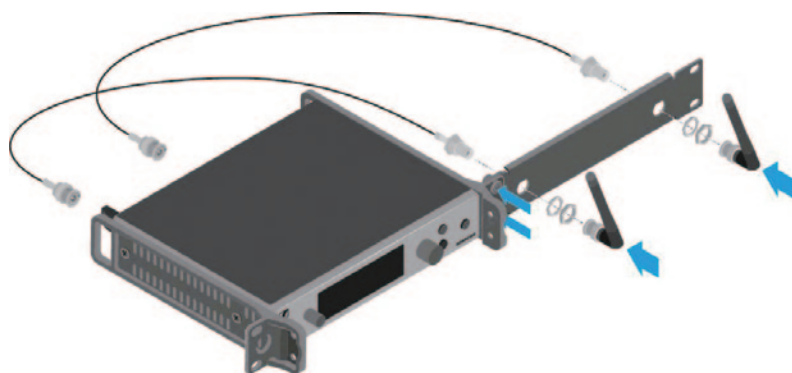
受信機をラックに取り付けるには、付属の GA 3 ラックマウントキットが必要です。

GA 3 ラックマウントキットの取り付け角度を固定するには：

- ▷ 受信機の両側にある 2 つの十字穴付き小ねじ (M4x8) を取り外します。
- ▷ 取り外した十字穴付き小ねじを使用して、受信機の両側の取り付け角度の両方を固定します。



- ▷ 2 つの十字穴付き小ねじ (M6x10) を使用してブランキングプレートを取り付け角度の 1 つに固定します。
- ▷ AM 2 アンテナのフロントマウントセット (別売) を取り付け、ブランキングプレートにロッドアンテナを取り付けます (右図)。



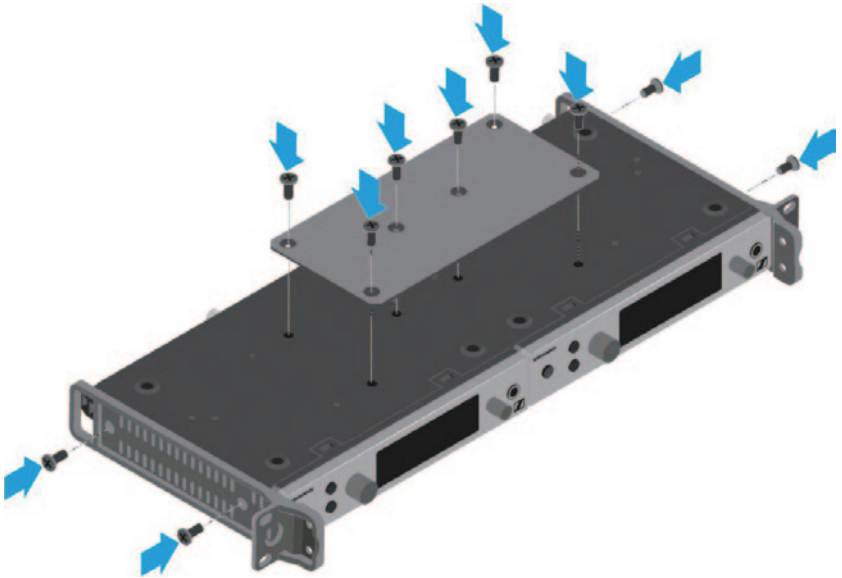
- ▷ マウントされたブランキングプレート付きの受信機を 19 インチラックにスライドさせながら装着します。
- ▷ 取り付け角度とブランキングプレートを 19 インチラックに固定します。
- ▷ 取り付けられたアンテナを V 字型に調整します。

受信機 2 台を並べてラックに設置する

i 2 台のレシーバーを並べて取り付けるには、AM2 フロントマウントキット (別売) 付属の GA 3 ラックマウントキット、ASA 214 アンテナスプリッター (別売) を組み合わせてアンテナをフロントマウントにすることが必要です。

GA 3 ラックマウントキットで受信機を取り付けるには：

- ▷ 両方の受信機を上下逆に、平らな面の上に並べます。
- ▷ 6 つの十字穴付き小ねじ (M3x6) を使用して、送信機にジョイントプレートを固定します。
- ▷ 取り付け角度を固定します。



SKM 300/500 G4 のセットアップ

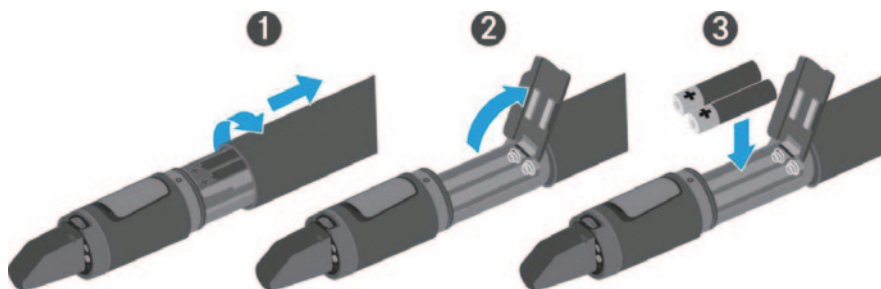
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し

ワイヤレスマイクは、バッテリー（1.5 V 単三電池）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ ワイヤレスマイクの後部を矢印の方向（反時計回り）に回して、ワイヤレスマイクのハンドルを外します。









i 使用中にワイヤレスマイクの後部を回し緩めると、自動でミュートになります。**MUTE** がディスプレイパネルに表示されます。ワイヤレスマイクの後部を回し閉めると、ミュートが解除されます。

- ▷ ワイヤレスマイクの後部を完全に引き出します。
- ▷ バッテリーコンパートメントのカバーを開きます。
- ▷ カバーに示されているように、バッテリーコンパートメントにバッテリーまたは BA 2015 充電式バッテリーを入れます。
- ▷ バッテリー / バッテリーパックの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。

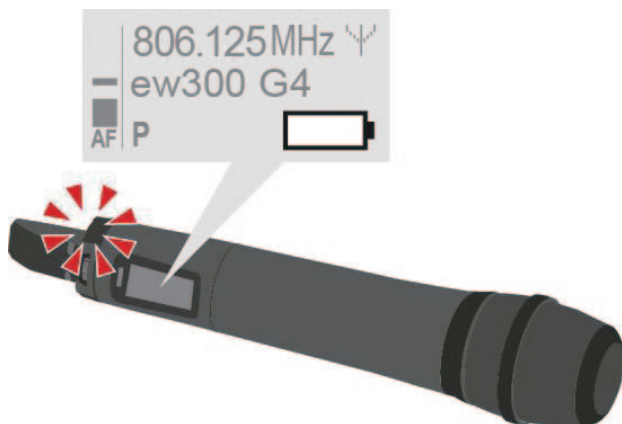


- ▷ カバーを閉じます。
- ▷ バッテリーコンパートメントをワイヤレスマイクのハンドルに押し込みます。
- ▷ ワイヤレスマイクの後部を回してハンドルをもとの位置に戻します。

バッテリー残量：

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT   		
		

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT)：



マイクモジュールの交換

- ▷ マイクモジュールのネジを回して外してください。
- ▷ 希望のマイクモジュールを付けます。



i ワイヤレスマイクのコンタクトやマイクモジュールのコンタクトに触れないでください。コンタクトに触れると、汚れたり折れ曲がったりする場合があります。

使用中にマイクモジュールを外すと、自動でミュートになります。**MUTE** がディスプレイパネルに表示されます。マイクをもとに戻すと、ミュートが解除されます。

SK 300/500 G4 のセットアップ

バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し









ボディバック型送信機は、バッテリー（1.5 V 単三電池）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ 2箇所 の留め金を押してバッテリーコンパートメントカバーを開きます。
- ▷ 下のよう にバッテリーまたは充電式バッテリーを挿入します。▷ バッテリーの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。



- ▷ バッテリーコンパートメントを閉じます。
カバーはカチッという音がしてロックがかかります。

バッテリー残量：

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT   		
		

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT)：



マイクを SK 300/500 G4 に接続する

マイクをボディパック型送信機に接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のようにボディパック型送信機の **MIC/LINE** ソケットに差し込みます。
- ▷ ボディパック型送信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



楽器やラインソースを SK 300/500 G4 に接続する

ボディパック型送信機には、楽器やラインレベルのオーディオソースを接続できます。

そのためには **Ci 1-N** (スクリューロック付き 3.5mm ジャック -6.3mm ジャック) または **CL 2** (スクリューロック付き 3.5mm ジャック -XLR) のゼンハイザーケーブルが必要です。

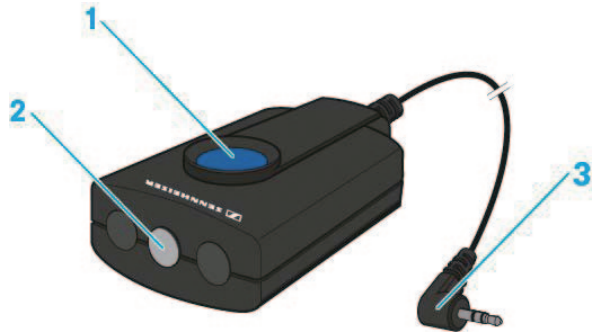
ボディパック型送信機に楽器やラインソースを接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のようにボディパック型送信機の **MIC/LINE** ソケットに差し込みます。
- ▷ ボディパック型送信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



RMS 1 ミュートボタンを SK 300 G4 に接続する (SK 300 G4 のみ)

ケーブル経由で RMS 1 外部ミュートボタンにより SK 300 G4 を遠隔制御
できます。



- 1 MIC ボタン
- 2 STATUS (ステータス) LED
- 3 2.5 mm ジャックプラグ

RMS 1 を SK 300 G4 に接続する :

▷ RMS 1 の 2.5 mm ジャックプラグを SK 300 の 2.5 mm ジャックソ
ケットに差し込みます。

これにより SK 300 G4 の **MUTE** スイッチの機能が無効になります。



ボディパック型送信機を衣服に装着する

ベルトクリップを使って、ボディパック型送信機をご自分のウェストベルトまたはギターストラップにつけることができます。

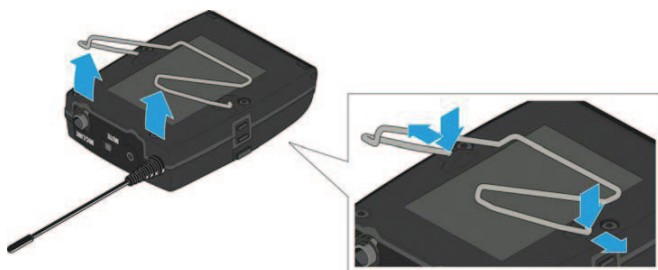
ベルトクリップは取り外しが可能で、ボディパック型送信機のアンテナを下方に向けることができます。取り外すにはベルトクリップを固定箇所から引張り、反対側に取り付けます。

誤って移動してしまわないよう、ベルトクリップは固定できます。



ベルトクリップを外すには：

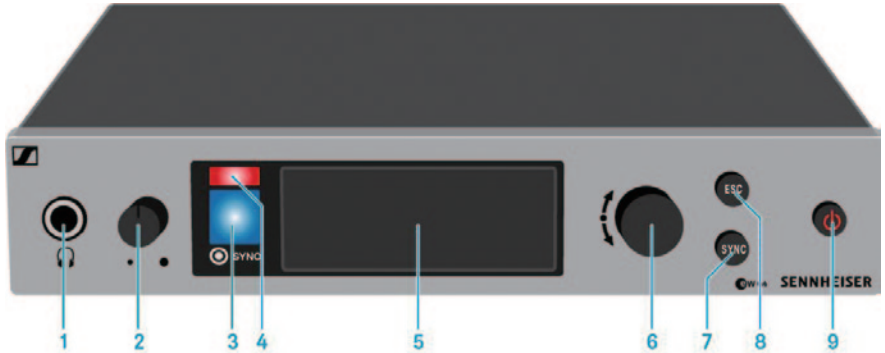
- ▷ 図のようにベルトクリップを持ち上げます。
- ▷ クリップの片方を固定穴で下向きに押し送信機のハウジングから引き出します。
- ▷ もう一方も同様にします。



EM 300-500 G4 の使用

EM 300-500 G4 各部の名称

EM 300-500 G4 の製品前面の概略図



- 1 ヘッドホン出力
- 2 ヘッドホン出力の音量コントロール
- 3 青色 LED 付き赤外線インターフェイス
- 4 赤色 LED 警告灯
- 5 ディスプレイパネル
- 6 メニュー選択用ジョグダイヤル
- 7 Sync ボタン
- 8 ESC ボタン
- 9 STANDBY ボタン

EM 300-500 G4 電源のオン / オフ

電源をオンにするには：

- ▷ **STANDBY** ボタンを短く押します。
ゼンハイザーロゴが表示されたのち、起動します。



スタンバイモードにするには：

- ▷ ディスプレイパネルに OFF が表示されるまで **STANDBY** を長押しします。
ディスプレイパネルが切れます。

電源を完全にオフにするには：

- ▷ コンセントから電源ユニットを外して、電源システムと受信機の接続を切ります。

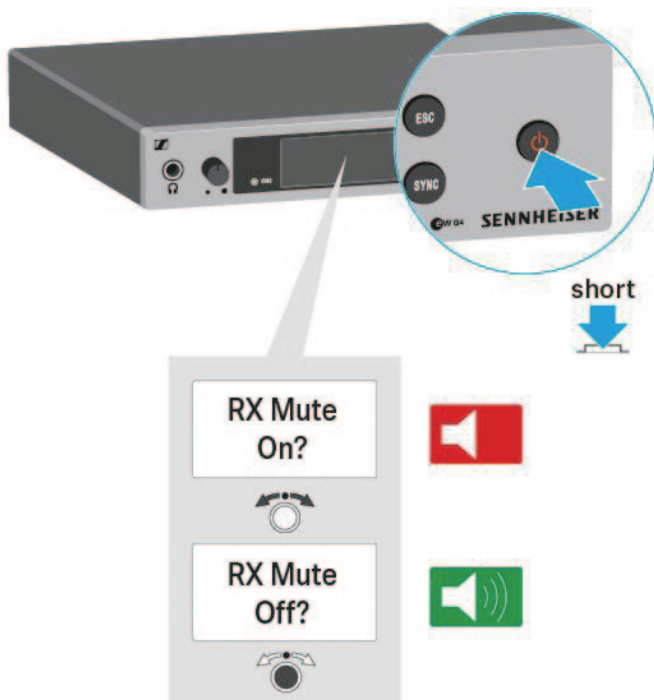
オーディオ出力のミュート

受信機のオーディオ信号のミュート：

- ▷ 標準画面で **STANDBY** ボタンを短く押します。
RX Mute On? と表示されます。(表示されていない場合、選択ジョグダイヤルで RX Mute On で切り替えます。)
- ▷ **SET** ボタンを押します。
 オーディオ信号がミュートされます。

ミュートを解除するには：

- ▷ **SET** ボタンを押します。
RX Mute Off? と表示されます。(表示されていない場合、選択ジョグダイヤルで RX Mute Off? に切り替えます。)
- ▷ **SET** ボタンを押します。
 オーディオ出力のミュートが解除されます。



ヘッドホン出力の使用

EM 300-500 G4 (6.3 mm ジャック) 前面にあるヘッドホン出力を使って、オーディオ出力を聞くことができます。

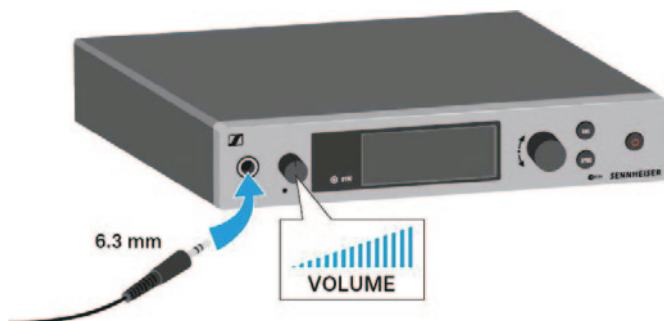
注意



大音量レベルによる危険

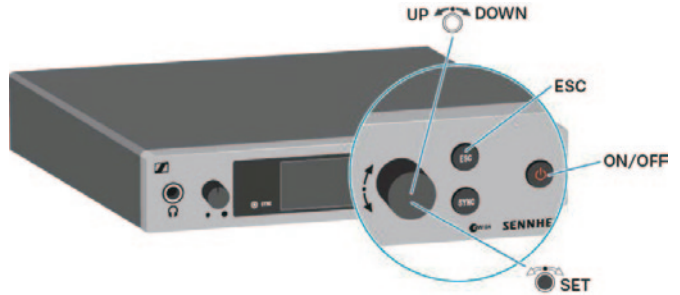
高すぎる音量は聴覚の障害を招くことがあります。

- ▷ ヘッドホンをつける前に音量を下げてください。
 - ▷ オーディオ出力、**AF Out** を +18 dB 以上に上げるとヘッドホン出力の音量も上がります。
-
- ▷ ヘッドホンをつなぐ前に HEADPHONES ソケットに接続します。
 - ▷ HEAD- PHONES ソケットの隣にある VOLUME コントロールを回して、音量をコントロールします。



EM 300-500 G4 操作方法

EM 300-500 G4 の操作には、次のボタンを使用します。



▷ **ESC** ボタンを短く押す

- 入力をキャンセルし前の画面に戻ります
ESC ボタン長押し
- 入力をキャンセルしホーム画面に戻ります



▷ **ジョグダイヤル**を押す

- 現在の標準ディスプレイから操作メニューに変わります
- メインメニューが表示されます
- サブメニューに進みます
- 設定を保存し操作メニューに戻ります



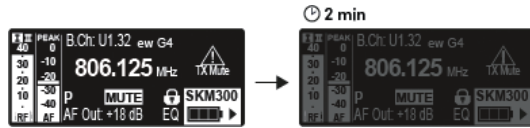
▷ **ジョグダイヤル**を回す

- 標準画面を選択します
- 前または次のメニューに移動します
- メニューの設定を変更します

ディスプレイ概要

受信機にスイッチを入れると、ディスプレイパネルにはゼンハイザーのロゴが表示されます。しばらくするとホーム画面が表示されます。

ホーム画面には3つの標準画面があります。
ジョグダイヤルを回して切り替えが可能です。

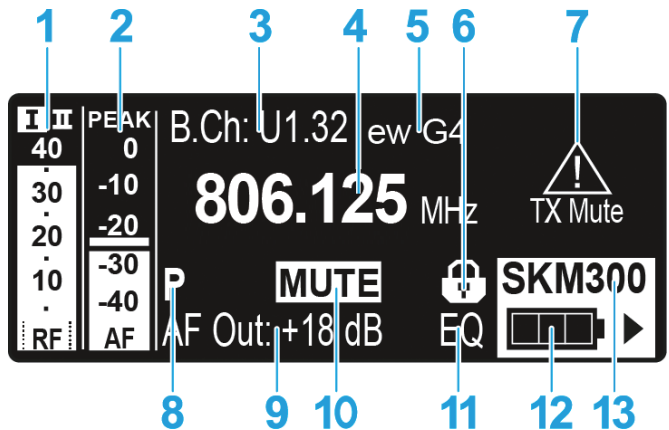


2分間操作をしないとディスプレイは暗くなります。



送信機への無線リンクがない場合は、ディスプレイのスイッチは20分後にオフになります。いずれかのボタンを押すと、ディスプレイは再度オンになります。

標準画面① 受信機のパラメーター



- 1 RF 受信レベル (電波)
 - ・ RF 信号レベル表示
 - ・ スケルチ検知レベルも表示されます。

2 AF オーディオレベル (音声)

- ・送信機のオーディオレベルを表示
フルデフレクションが表示されれば、オーディオ入力レベルは非常に高い状態です。送信機が頻繁に過負荷状態になったり、長時間過負荷状態になると、**PEAK** 表示が反転表示されます。

3 周波数バンクとチャンネル

- ・現在の周波数バンクとチャンネル数

4 周波数

- ・現在の受信周波数

5 名前

- ・現在設定されている名前を表示

6 ロックモードアイコン

- ・Auto Lock が有効になっている時に表示されます

7 警告

- ・発せられた警告メッセージが表示されます

8 パイロットトーン

- ・P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です。

9 出力ゲイン

- ・6.3 mm ソケット / XLR ソケットでのオーディオ周波数信号の現在の出力ゲイン

10 イコライザー設定

- ・現在のイコライザー設定

11 ミュート機能

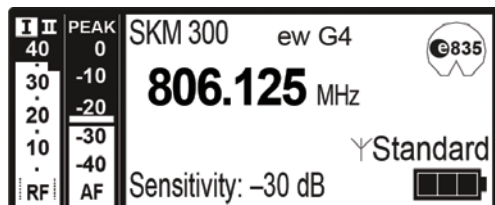
- ・“MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。

12 送信機のバッテリー残量**13 送信機の種類**

- ・接続されている送信機の製品名

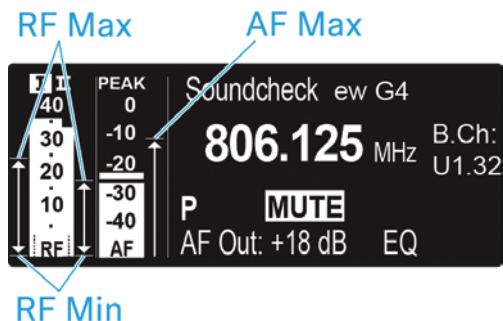
標準画面② 送信機のパラメーター

送信機のパラメーター 標準画面にはマイクモジュール (SKM のみ) と送信機の種類が表示されます。



標準画面③ Soundcheck

Soundcheck 標準画面は送信機と受信機間の伝送品質を示します。



サウンドチェックを行うことで、送信機を使用する領域全体で十分な伝送品質を確保しているか確認することができます。

確保できていない場合、人の手を借りずに最適化することが可能です。

- ▷ 送信機を持ちながら、使用するエリアを歩き回る。
受信機は、以下のパラメーターを記録します。

RF Min

- 最小 RF 信号受信レベル
- これは 2 つのアンテナのいずれかでスケルチ検知レベルを十分に超えている必要があります。

最適化する方法

- ▷ アンテナとアンテナケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
- ▷ アンテナの位置を調整します。
- ▷ 必要に応じてアンテナブースターを使用します。

RF Max

- 最大 RF 信号受信レベル
- 両アンテナが 40 dB μ V に達することが必要です

最適化する方法

- ▷ アンテナとアンテナケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
- ▷ アンテナの位置を調整します。
- ▷ 必要に応じてアンテナブースターを使用します。

AF Max

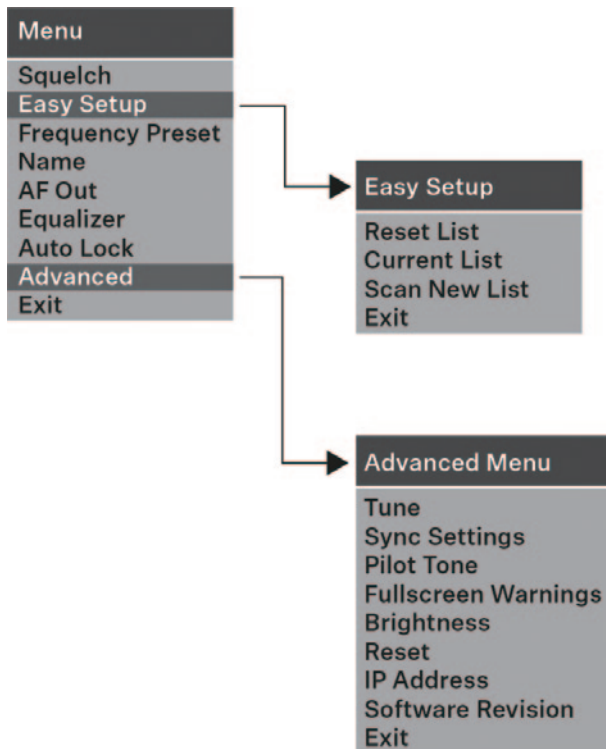
- 最大オーディオレベル

最適化する方法

- ▷ 送信機では、PEAK が表示されない範囲で、オーディオレベルを可能な限り高く調整してください (AF Max は PEAK 表示のレベルです)。

メニューの概要

図は EM 300-500 G4 メニュー構造全体の概要を示しています。



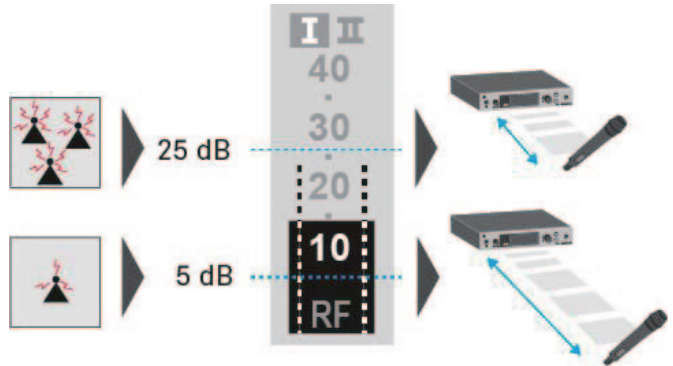
Squelch メニュー

Squelch メニューでスケルチ検知レベルの調整を行えます。

設定範囲：

- 5 ～ 25 dB μ V、2-dB ステップで調整可能

スケルチ検知レベルはホーム画面の RF 信号レベル部に表示されます。



注意

聴力、機材の損傷

スケルチ検知レベルを低くしすぎると、シューという大きなノイズが受信機で発生することがあります。このノイズは大きく、聴覚の障害やシステムのラウドスピーカーの損傷を招くことがあります。

- ▷ スケルチ検知レベルを調整する前に、オーディオ出力の音量を最小に設定してください。
 - ▷ ライブ伝送中にスケルチ検知レベルの変更は絶対にしないでください。
-

Squelch メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で**ジョグダイヤル**を押し、操作メニューを開きます。
- ▷ Squelch メニューが選択枠内に表示されるまで、**ジョグダイヤル**を回します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **ジョグダイヤル**を押して選択を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Easy Setup メニュー

Easy Setup メニューでスキャンすることにより電波干渉を避けた周波数を設定できます。

複数の EM300-500 G4 を LAN 経由で接続している場合、同じバンク内の周波数を簡単に受信機へ設定することができます。



スキャンを実行する前に全ての送信機のスイッチを切ってください。送信機がオンになったままだと利用不可能な周波数として検知されるため、実際に使用可能な周波数が使用できません。

Easy Setup メニューを開くには

- ▷ ホーム画面でジョグダイヤルを押し、操作メニューを開きます。
- ▷ **Easy Setup** メニューが選択枠内に表示されるまで、**ジョグダイヤル**を回します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押ししてメニューを開きます。



Scan New List

- ▷ **Scan New List** を選択して現在使用中の電波を感知し、空いている周波数を自動で検索します。(周波数プリセット)
- ▷ 周波数スキャンを開始するには**ジョグダイヤル**を押しします。
受信機の周波数域がスキャンされます。各周波数バンクで使用されていない周波数の数が表示されます。
- ▷ **ジョグダイヤル**を回して周波数バンクを選択します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押しして選択を確認します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を回して選択したバンクから未使用の周波数を選択します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押しして選択を保存し選択した周波数を送信機と同期させます。

または

- ▷ **Sync** ボタンを押しして選択した周波数を送信機と同期させます。

Current List

- ▷ **Current List** を選択して最後にスキャンした周波数リストを表示します。スキャンしていない場合や Reset List を行った場合は、最大使用可能数のバンクチャンネルが表示されます。

Reset

- ▷ **Reset List** を選択して Current List をデフォルトに戻します。

Frequency Preset メニュー

Frequency Preset メニューでは、周波数バンクとチャンネルを調整して受信機の受信周波数を調整することができます。

Frequency Preset メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で **ジョグダイヤル** を押し、操作メニューを開きます。
- ▷ Frequency Preset メニューが選択枠内に表示されるまで、**ジョグダイヤル** を回します。
- ▷ **ジョグダイヤル** を押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **ジョグダイヤル** を回して選択を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Name メニュー

Name メニューで名前を入力できます。

Name メニューを開くには

- ▷ ホーム画面でジョグダイヤルを押し、操作メニューを開きます。
- ▷ Name メニューが選択枠に現れるまで、ジョグダイヤルを回します。
- ▷ ジョグダイヤルを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ ジョグダイヤルを押しして選択を保存するか、
- ▷ ESC ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

AF Out メニュー

AF Out メニューで、受信機のオーディオ出力レベルの設定ができます。

設定範囲：

- -24 dB ~ +24 dB まで 3 dB ステップで変更可能。

AF Out メニューを開くには、

- ▷ ホーム画面で**ジョグダイヤル**を押し、操作メニューを開きます。
- ▷ **AF Out** メニューが選択枠内に表示されるまで、**ジョグダイヤル**を回します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **ジョグダイヤル**を押して選択を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Equalizer メニュー

Equalizer メニューで出力信号の周波数応答を変更できます。低域を下げ、高域を上げることができます。

AF Out メニューを開くには、

- ▷ ホーム画面でジョグダイヤルを押し、操作メニューを開きます。
- ▷ AF Output メニューが選択枠内に表示されるまで、ジョグダイヤルを回します。
- ▷ ジョグダイヤルを押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ ジョグダイヤルを押して選択を保存するか、
- ▷ ESC ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Auto Lock メニュー

Auto Lock メニューで Auto Lock 機能を有効または無効にできます。

Auto Lock メニューを開くには：

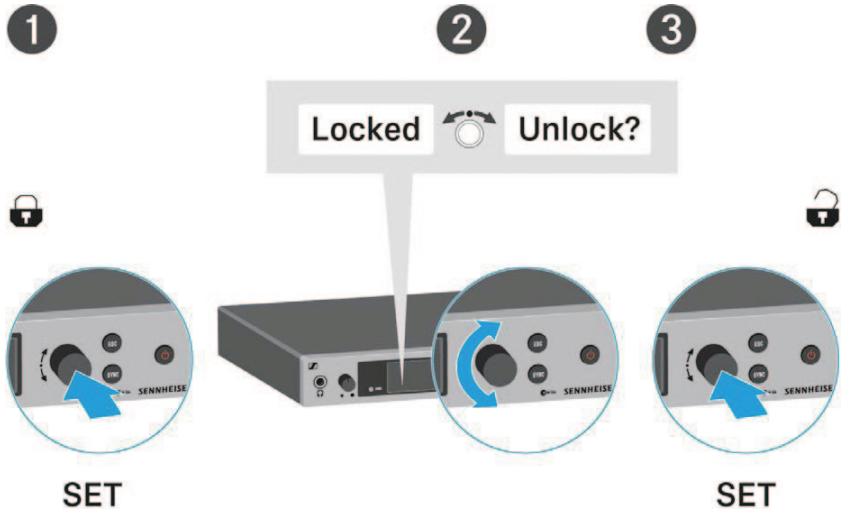
- ▷ ホーム画面でジョグダイヤルを押し、操作メニューを開きます。
- ▷ **Auto Lock** メニューが選択枠内に表示されるまで、**ジョグダイヤル**を回します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **ジョグダイヤル**を押して選択を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

ロックを一時解除するには：

- ▷ ジョグダイヤルを押します。
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ジョグダイヤルを回します。
Unlock ? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ジョグダイヤルを押します。
これで Auto Lock 機能は一時的に解除されます。



操作メニューでは、

>> 一時ロック解除後、ただちにロックされることはありませんので操作メニューで操作が可能です。

標準画面のいずれかが表示されているときは、

>> 一時ロック解除後、約 10 秒で再ロックされます。

Advanced -> Tune メニュー

Advanced サブメニューの Tune メニューで、U1 から U6 の周波数バンクの受信周波数を設定できます。

U 周波数バンクでは合計 32 の周波数を保存できます。

周波数のみ調整する

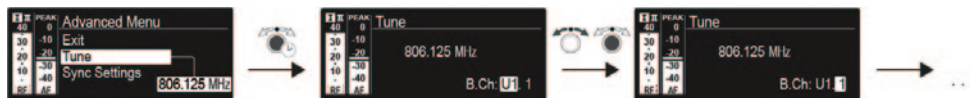
▷ Advanced メニューから、Tune メニューを開きます。



- ▷ ジョグダイヤルを押して選択を保存するまたは、
- ▷ ESC ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

チャンネルと周波数を設定する

- ▷ Tune メニューを選択し、チャンネル選択画面が表示されるまで SET ボタンを押します。
- ▷ 設定を調整します。



- ▷ ジョグダイヤルを押して選択を保存するまたは、
- ▷ ESC ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Advanced -> Sync Settings メニュー

Advanced サブメニューの **Sync Settings** メニューで送信機に送るパラメーターおよび伝送の有効、無効の設定ができます。パラメーターは SK, SKM, SKP で個別に設定します。

次のパラメーターを有効または無効にできます。

- Sensitivity
- Auto Lock
- Mute Mode
- Phantom Power 48 V (SKP のみ)

パラメーターおよび伝送の有効、無効を設定するには：

- ▷ **Advanced -> Sync Settings** メニューで目的のパラメーターを選びます。
- ▷ menu.
- ▷ **ジョグダイヤル**を押して必要なサブメニューを開きます。
- ▷ **ジョグダイヤル**を回して希望の値を設定します。
- ▷ **ジョグダイヤル**を押して選択を保存するか、
- ▷ **ジョグダイヤル**を回してチェックボックスを有効、または無効にします。



チェックボックスを有効にすると、その値は同期中伝送されます。無効にするとその値は伝送されません。

- ▷ **ジョグダイヤル**を押して選択を保存するか、

Advanced -> Pilot Tone メニュー

Advanced サブメニューの **Pilot Tone** メニューでパイロットトーンを有効または無効にすることができます。



本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。

パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

Advanced -> Fullscreen Warnings メニュー

Advanced サブメニューの Warnings メニューで、状況によって警告を有効、無効にできます。対象となる警告は全画面にわたって点滅します。



有効または無効にできるのは次の警告です。

AF Peak

- オーディオレベルが高すぎます。

Low RF Signal

- RF 信号が弱すぎます。

RF Mute

- 送信機から受信機への RF 信号が無効になっています。

TX Mute

- 送信機のオーディオ信号がミュートになっています。

RX Mute

- 受信機のオーディオ信号がミュートになっています。

Low battery

- 送信機のバッテリー残が少なくなっています。

Advanced -> Brightness メニュー

Advanced サブメニューの Brightness メニューでディスプレイパネルのコントラストを調整できます。



Advanced -> Reset メニュー

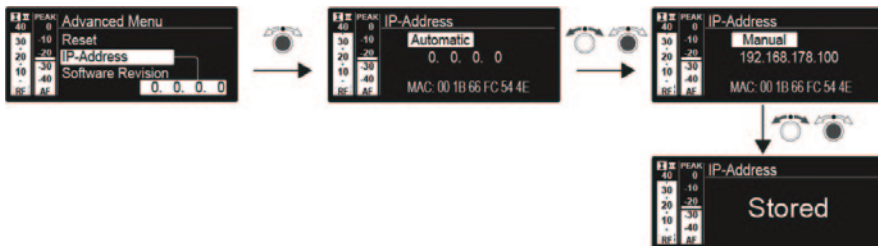
Advanced サブメニューの Reset メニューで、受信機の設定をリセットできます。



Advanced -> IP Address メニュー

Advanced サブメニューの IP Address メニューで IP アドレスの設定ができます。

IP アドレスは自動で入れることも、手入力することもできます。

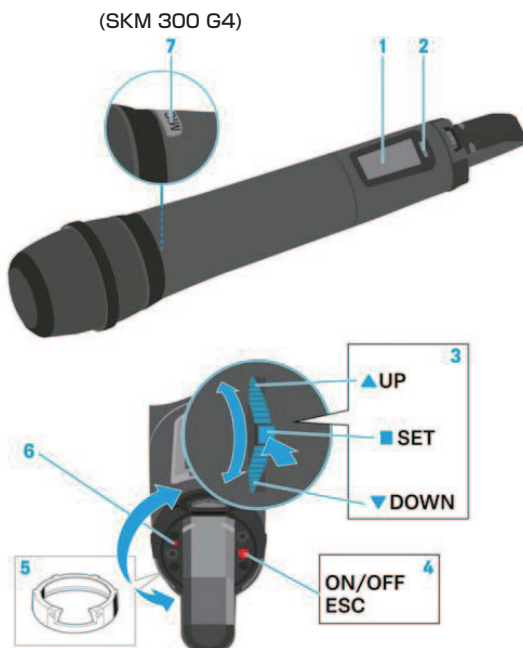


Advanced -> Software Revision メニュー

Advanced サブメニューの Software Revision メニューで、受信機に使用されているソフトウェアのバージョンを表示できます。

SKM 300/500 G4 の使用

SKM 300/500 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 赤外線インターフェイス
- 3 ▲UP/▼DOWN および SET マルチファンクションスイッチ
- 4 ON/OFF ボタン
 - ・電源のオン・オフを行います
 - ・ESC(終了)機能
 - ・RF信号を無効にする
- 5 識別カラーリング
 - ・マルチファンクションスイッチ保護も兼ねています。
- 6 操作とバッテリーインジケータ、赤色 LED
 - ・点灯 = 電源 ON
 - ・点滅 = 低バッテリー
- 7 MIC ボタン (SKM 300 G4 のみ)

SKM 300/500 G4 電源のオン / オフ

電源をオンにするには：

- ▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



電源をオフにするには：

- ▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

ハンドヘルド送信機の RF ミュート

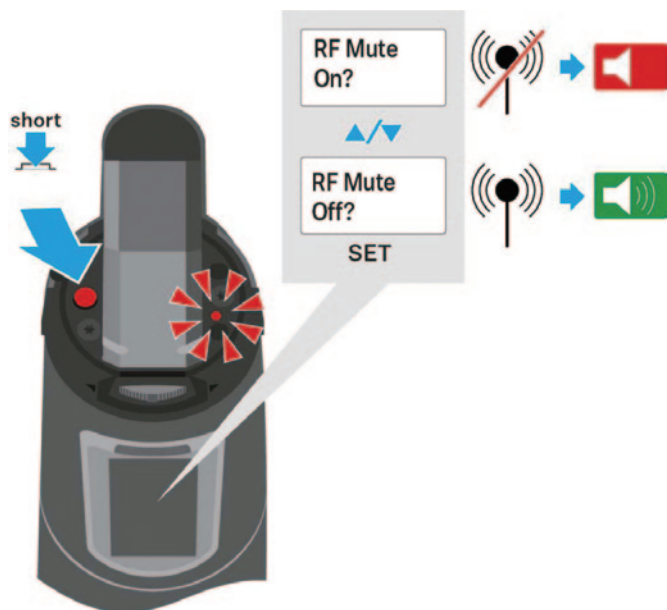
RF 信号は、ON/OFF ボタンで無効にできます。

RF 信号を無効にするには、

- ▷ ON/OFF ボタンを押します。
RF Mute On? と表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。
送信周波数が表示されますが、ワイヤレスマイクは RF 信号を出しません。
アンテナアイコンは点灯しません。

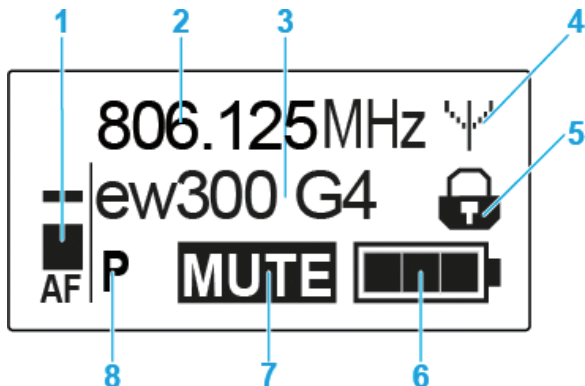
RF 信号を有効にするには：

- ▷ ON/OFF ボタンを押します。
RF Mute Off? と表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。
アンテナアイコンが再度表示されます。



ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。



- 1 AF オーディオレベル (音声)
 - ・オーディオレベルをピーク保持機能で表示
- 2 周波数
 - ・現在の送信周波数です
- 3 名前
 - ・現在設定されている名前を表示
- 4 アンテナアイコン
 - ・アンテナアイコンが表示されている時は RF 信号 (電波) が伝送されている状態です
- 5 ロックモードアイコン
 - ・Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量
- 7 MUTE 機能
 - ・“MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン
 - ・P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です

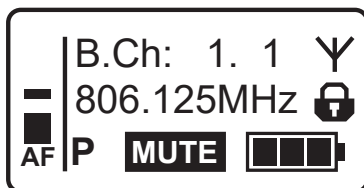
標準画面を選択します

▷ マルチファンクションスイッチを動かして標準画面を選択します：

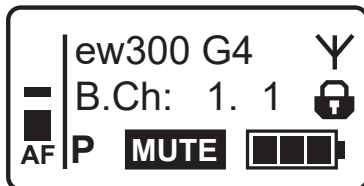
周波数 / 名前の標準画面



チャンネル / 周波数の標準画面



名前 / チャンネルの標準画面



SKM 300/500 G4 操作方法

メニューの移動

メニューを開くには、

- ▷ **SET** ボタンを押します。

操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。
- ▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

メニュー内容の変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

- ▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、**ON/OFF** ボタンを押します。

メニュー概要

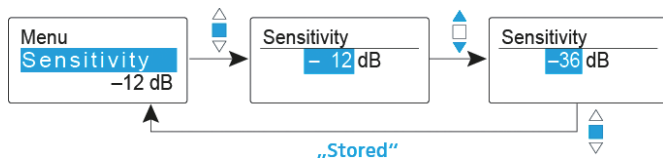
メニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

Sensitivity メニュー

- 入力感度 - **AF** オーディオレベルの調整

設定範囲：0 dB ~ -48 dB まで 6 dB 刻みで変更可能。

生放送前の感度チェックなどの場合、ワイヤレスマイクがミュートになっている時には **AF** オーディオレベルが表示されます。

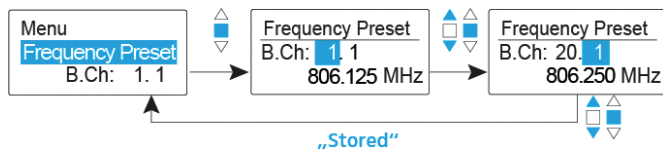


推奨プリセット：

- 大音量の音楽 / ボーカル -48 ~ -18 dB
- モデレーション :-18 ~ -12 dB
- インタビュー :-12 ~ 0 dB

Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



i Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは最大 8 波での運用が可能です。(環境により変動)

他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

Name メニュー

- 名前の入力



Name メニューでは、ワイヤレスマイクに好きな名前を入力できます。

この名前は、周波数 / 名前および名前 / チャンネルの標準画面に表示されます。

名前は最大で 8 文字です。

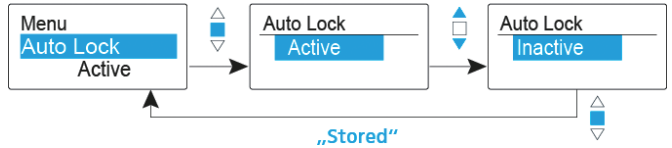
- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして文字を選択します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押して次のスペースに移るか、入力が完了したら名前を保存します。

Auto Lock メニュー

- Auto Lock 機能のオン、オフ切り替え

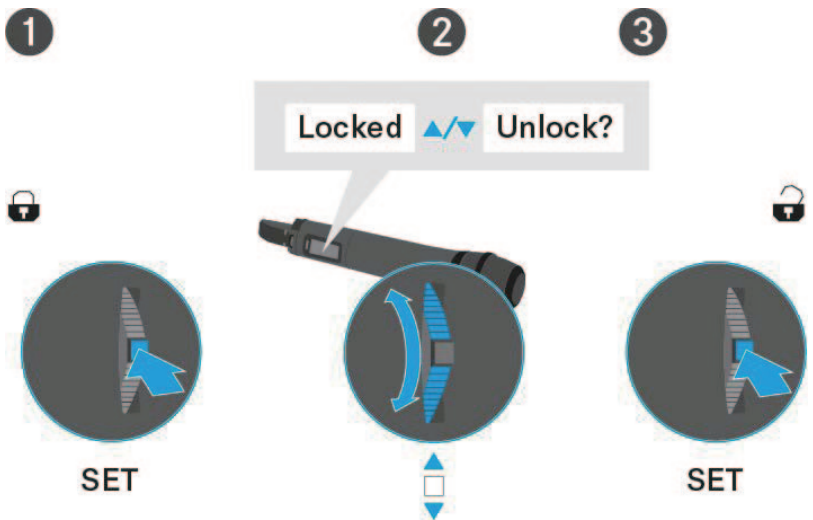


Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現在の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効すると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押します。
Unlock ? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。
これでロックは一時的に解除されます。



Advanced -> Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定

ワイヤレスマイクをシステムバンクに設定し、**Tune** メニューを選ぶと、周波数バンク **U** のチャンネル **1** が自動的に設定されます。メッセージ **U.1** が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク **U** のチャンネルはその送信周波数にも割り当てられていません。

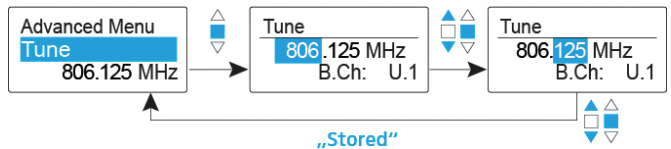
Tune メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク **U** でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を **Tune** メニューで設定できます。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして **Tune** メニューを表示させます。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。

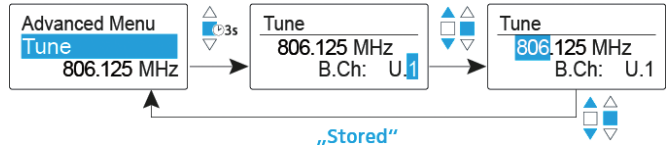
周波数選択が表示されます。



- ▷ 希望の周波数を設定します。
 - ▷ マルチファンクションスイッチを押します。
- 設定が保存されます。操作メニューに戻ります。

チャンネルの選択と周波数の割り当てでは、次の手順で行います。

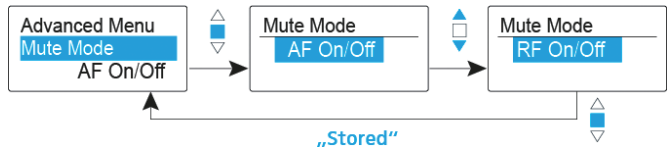
- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして Tune メニューを表示させます。
- ▷ マルチファンクションスイッチを長押しし、周波数バンク選択画面を表示させます。



- ▷ 希望のチャンネルを設定します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。
周波数選択が表示されます。
- ▷ 周波数を設定します。

Advanced -> Mute Mode メニュー

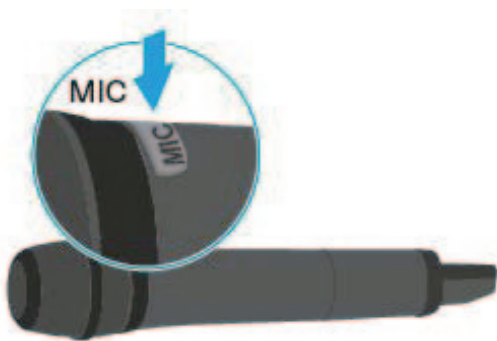
- MIC ボタンに機能を設定する (SKM 300 G4 のみ)



モード	機能
AF On/Off	MIC ボタンを押すと、オーディオ信号は伝送されません。
RF On/Off	MIC ボタンを押すと、RF 信号は伝送されません。
Push to Mute	MIC ボタンを押している間は、オーディオ信号は無効となります。
Push to Talk	MIC ボタンを押している間は、オーディオ信号が有効となります。
Disabled	機能しません

AF ON/OFF モード

オーディオ信号のミュートは、MIC スイッチで行います。
その際は、MIC ボタン機能を AF On/Off に設定してください。



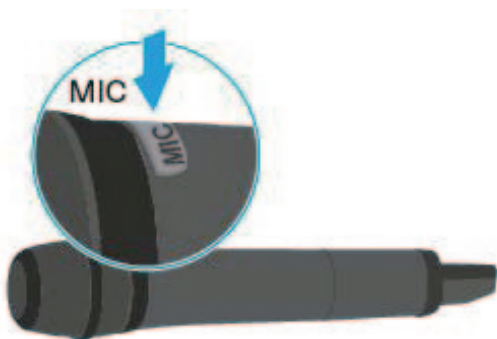
また MIC ボタンを赤く点灯させるかどうか、また点灯させるならいつか、の設定もできます。

RF ON/OFF モード

RF 信号を MIC ボタンで無効にする

RF 信号のミュートは、MIC ボタンで行います。

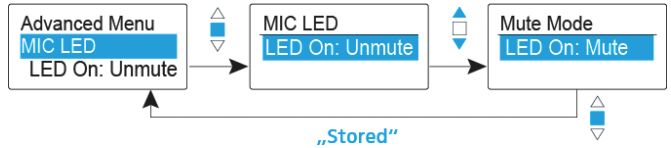
その際は、MIC ボタン機能を RF On/Off に設定してください。



また MIC ボタンを赤く点灯させるかどうか、点灯させるならいつか、の設定もできます。

Advanced > MIC LED メニュー

- MIC ボタンの光り方を設定する (SKM 300 G4 のみ)



MIC LED メニューでは、「Advanced > Mute Mode メニュー」の設定および RF 信号の状況に関わりなく、MIC ボタンの背景光を設定および無効にすることができます。

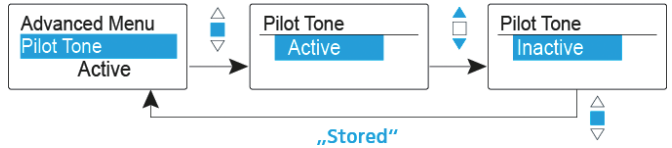
MIC LED
メニューの設定

MIC ボタンの光り方

LED On : Unmute	MIC ボタンは、ワイヤレスマイクから RF 信号が送られるか、またはミュートになっていない場合に点灯します。
LED On : Mute	The MIC ボタンは、ワイヤレスマイクから RF 信号が送られていないか、またはミュートになっている場合に点灯します。
Disable LED	MIC ボタンの背景光は点灯しません。

Advanced -> Pilot Tone メニュー

- パイロットトーンを有効または無効にする



本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。

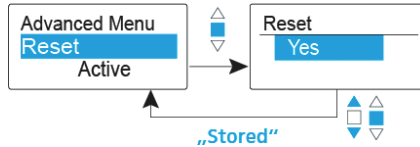
パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

Advanced -> LCD Contrast メニュー

- ディスプレイパネルのコントラストを調整する
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

Advanced -> Reset メニュー

- ワイヤレスマイクのリセット



ワイヤレスマイクをリセットする場合、パイロットトーンと U1 ~ U6 の周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

Advanced -> Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する
現在のソフトウェア情報を表示できます。

SK 300/500 G4 の使用

SK 300/500 G4 各部の名称



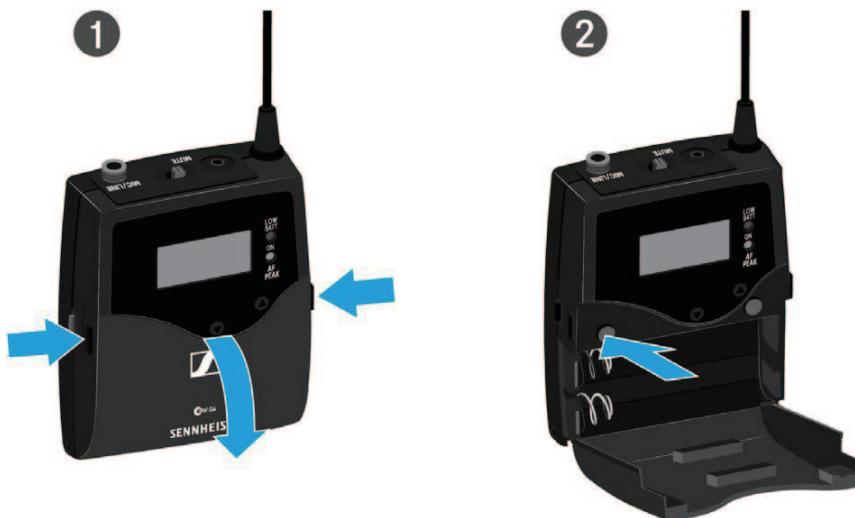
- 1 ディスプレイパネル
- 2 操作とバッテリーインジケーター、赤色 LED
 - ・点灯 = 電源 ON
 - ・点滅 = 低バッテリー
- 3 AF ピークインジケーター、黄色の LED 点灯 = ピーク
- 4 ▲ UP ボタン
- 5 SET ボタン
- 6 ▼ DOWN ボタン
- 7 ON/OFF ボタン
 - ・電源のオン・オフを行います。
 - ESC(終了)機能
- 8 赤外線インターフェイス
- 9 MUTE スイッチ
 - ・オーディオ信号のオン・オフまたは、RF 信号のオン・オフ
- 10 2.5 mm ジャックソケット (SK 300 G4 のみ)
 - ・外部ミュートボタン RMS 1 用

SK 300/500 G4 電源のオン / オフ

▷ 2 箇所の留め金を押してバッテリーカバーを開きます。

SK 300/500 G4 の電源をオンにするには：

▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



SK 300/500 G4 の電源をオフにするには、

▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

ボディバック送信機の RF ミュート

RF 信号は、ON/OFF スイッチで無効にできます。

RF 信号を無効にするには、

- ▷ **オン / オフ** ボタンを短く押します。

RF Mute On ? と表示されます。

- ▷ **SET** ボタンを押します。

RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



RF 信号を有効にするには、

- ▷ **オン / オフ** ボタンを短く押します。

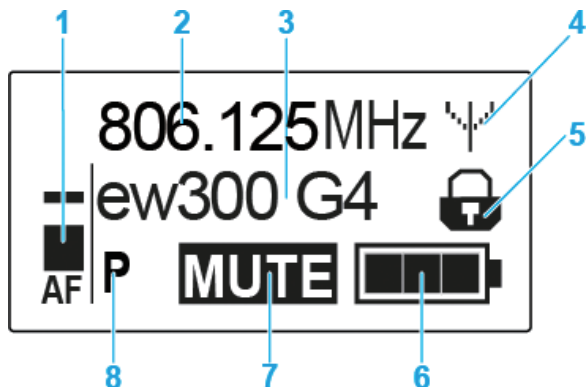
RF Mute Off? と表示されます。

- ▷ **SET** ボタンを押します。

アンテナアイコンが再び表示されます。

ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。

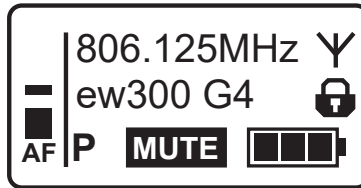


- 1 **AF** オーディオレベル (音声)
 - ・オーディオレベルをピーク保持機能で表示します。
- 2 周波数
 - ・現在の送信周波数です
- 3 名前
 - ・現在設定されている名前を表示
- 4 アンテナアイコン
 - ・アンテナアイコンが表示されている時は RF 信号 (電波) が伝送されている状態です
- 5 ロックモードアイコン
 - ・Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量
- 7 **MUTE** 機能
 - ・“MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン
 - ・P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です

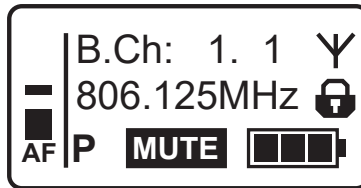
標準画面を選択します

▷ ▲UP または▼DOWN ボタンを押して標準画面を選択します。

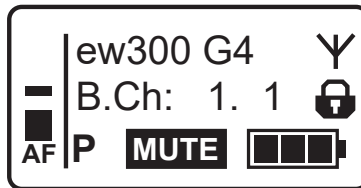
周波数 / 名前の標準画面



チャンネル / 周波数の標準画面



名前 / チャンネルの標準画面



SK 300/500 G4 操作方法

メニューの移動

メニューを開くには、

- ▷ **SET** ボタンを押します。

操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。
- ▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

メニューの変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

- ▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、**ON/OFF** ボタンを押します。

メニュー概要

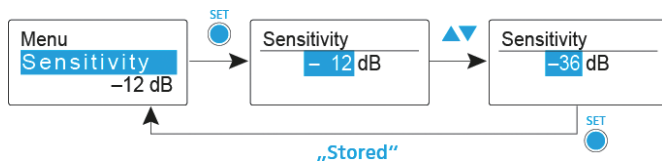
このメニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

Sensitivity メニュー

- 入力感度 - **AF** オーディオレベルの調整

設定範囲：0 dB ~ -60 dB まで 3 dB ステップで変更可能。

生放送前の感度チェックなどの場合、ボディパック型送信機がミュートになっている時には **AF** オーディオレベルが表示されます。

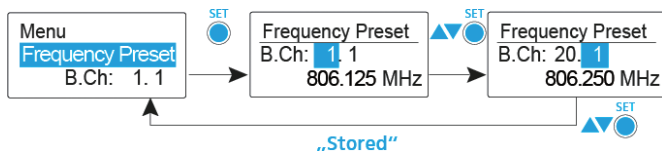


推奨プリセット：

- 大音量の音楽 / ボーカル：-30 ~ -21 dB
- モデレーション：-21 ~ 0 dB
- 楽器入力
 - エレキギター、シングルコイルピックアップ：-30 ~ -24 dB
 - エレキギター、ハムバッカーピックアップ：-45 ~ -30 dB
 - アクティブエレクトロニクス使用ギター（アクティブピックアップ、アクティブ EQ、ピエゾピックアップ）-45 ~ -30 dB

Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



i Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは最大 8 波での運用が可能です。(環境により変動)

他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

Name メニュー

- 名前の入力



Name メニューでは、ボディバック型送信機に好きな名前を入力できます。

この名前は、**周波数 / 名前**および**名前 / チャンネル**の標準画面に表示されます。

名前は最大で 8 文字です。

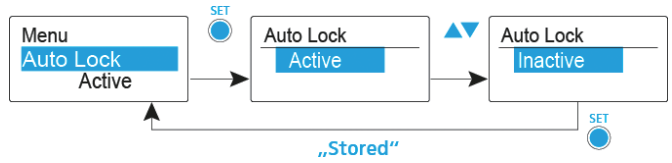
- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ ▲ UP または▼ DOWN ボタンを押して文字を選択します。
- ▷ ▲ UP または▼ DOWN ボタンを押して次のスペースに移るか、入力が完了したら名前を保存します。

Auto Lock メニュー

- Auto Lock 機能のオン、オフ切り替え



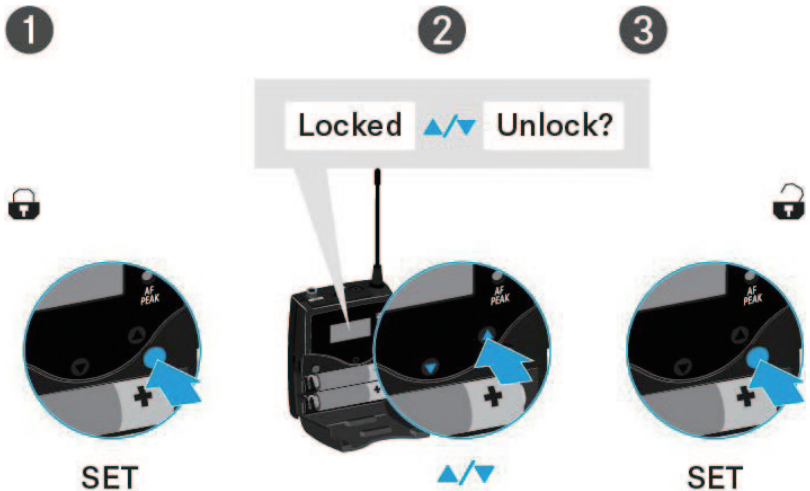
Auto Lock 機能は、ボディパック型送信機を意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現状の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押します。
Unlock ? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。
これでロックは一時的に解除されます。

Auto Lock 機能の作動中は、ロックモードアイコンが点灯します。



Advanced -> Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定

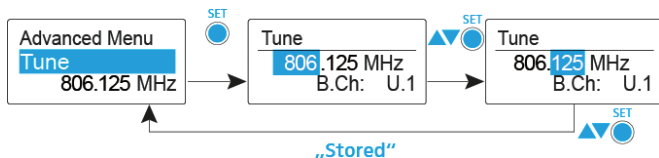
ボディバック型送信機をシステムバンクとして設定した場合、Tune メニューを呼び出すと周波数バンク U のチャンネル 1 は自動で設定されます。メッセージ U.1 が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク U のチャンネルはどの送信周波数にも割り当てられていません。

Tune メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク U でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を Tune メニューで設定できます。周波数を選択する際は、「設定の諸注意」をご参照ください。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

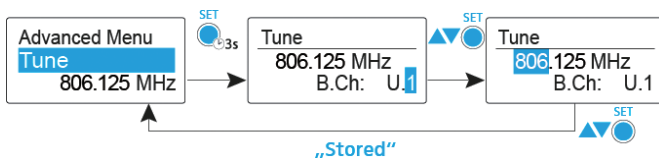
- ▶ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押して Tune メニューが表示されるようにします。
 - ▶ SET ボタンを押します。
- 周波数選択が表示されます。



- ▶ 希望の周波数を設定します。
 - ▶ SET ボタンを押します。
- 設定が保存されます。操作メニューに戻ります。

チャンネルの選択と周波数の割り当ては、次の手順で行います。

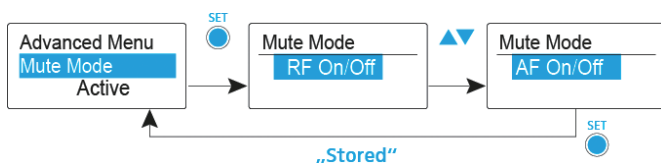
- ▶ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押して Tune メニューが表示されるようにします。
- ▶ 電源 LED が消えるまで SET ボタンを長押しします。



- ▶ 希望のチャンネルを設定します。
 - ▶ SET ボタンを押します。
- 周波数選択が表示されます。
- ▶ 周波数を設定します。

Advanced -> Mute Mode メニュー

- ミュートスイッチと RMS 1 外部ミュートボタンの機能を設定します。



- i** Push to mute と Push to talk メニューは RMS 1 外部ミュートボタンでのみ利用できます。

モード	スイッチ	機能
RF On/Off	MUTE スイッチ	MUTE の位置になっていると、RF 信号が無効となります。
	RMS 1 外部ミュートボタン	RMS 1 ミュートボタンを押す：RF 信号が無効になります もう一度 RMS 1 ミュートボタンを押す：RF 信号が有効になります
AF On/Off	MUTE スイッチ	MUTE に設定されているとオーディオ信号はミュートになります
	RMS 1 外部ミュートボタン	RMS 1 ミュートボタンを押す：オーディオ信号がミュートされます もう一度 RMS 1 ミュートボタンを押す：オーディオ出力のミュートがキャンセルされます
Push to Mute	RMS 1 外部ミュートボタン	RMS 1 ミュートボタンが押されている限り、オーディオ信号は無効です。
Push to Talk	RMS 1 外部ミュートボタン	RMS 1 ミュートボタンが押されている限り、オーディオ信号は有効です。
無効 RMS 1	MUTE スイッチまたは 外部ミュートボタン	機能は無効です。

- i** 外部ミュートボタン RMS 1 を接続すると、このボタンで信号を無効にできます。MUTE スイッチの機能はこの間無効です。

ボディバック送信機の AF ミュート

MUTE スイッチでオーディオ信号のミュート

オーディオ信号のミュートは、MUTE スイッチで行います。

その際は、MUTE スイッチ機能を AF On/Off に設定してください。



- ▷ MUTE スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。
オーディオ信号がミュートされました。MUTE メッセージがディスプレイに表示されます。

ボディバック送信機の RF ミュート

RF 信号を、MUTE スイッチで無効にする

RF 信号は、MUTE スイッチで無効にできます。

その際は、MUTE スイッチ機能を RF On/Off に設定してください。



▷ MUTE スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。

RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



SK 300 G4 を RMS 1 ミュートボタンで操作する

ケーブル経由で RMS 1 外部ミュートボタンにより SK 300 G4 を遠隔制御できます。

▷ SK 300 G4 の「Advanced -> Mute Mode メニュー」で RMS 1 の希望の設定をします。

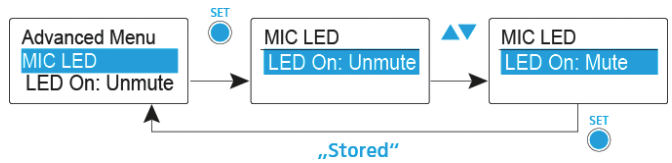
▷ MIC ボタンを押します。

ボディバック型送信機は表、「Advanced ->Mute Mode メニュー」のような動作をします。



Advanced > MIC LED メニュー (SKM 300 G4 のみ)

- RMS 1 外部ミュートボタンの **STATUS LED** の設定

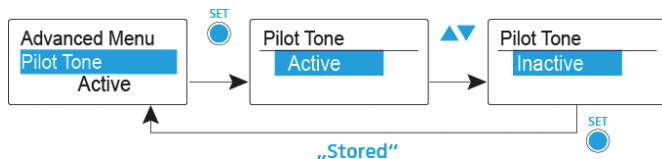


MIC LED メニューで RMS 1 外部ミュートボタンの **STATUS LED** を設定したり無効にすることができます。これは「Advanced -> Mute Mode メニュー」の設定や RF 信号の状況とは関係がありません。

MIC LED メニューの設定	外部ミュートボタンの STATUS LED RMS 1
LED On : Unmute	STATUS LED はボディパック型送信機から RF 信号が送られている時、またはミュートになっていない場合に点灯します。
LED On : Mute	STATUS LED はボディパック型送信機から RF 信号が送られていない時、またはミュートになっている場合点灯します。
Disable LED	STATUS LED は無効です。

Advanced -> Pilot Tone メニュー

- パイロットトーンを有効または無効にする



本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。

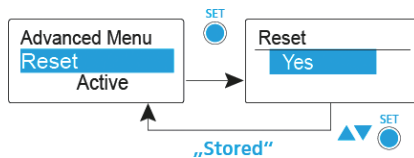
パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

Advanced -> LCD Contrast メニュー

- ディスプレイパネルのコントラストを調整する
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

Advanced -> Reset のメニュー

- ボディパック型送信機のリセット



ボディパック型送信機をリセットする場合、パイロットトーンと U1 ~ U6 の周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

Advanced -> Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する
現在のソフトウェア情報を表示できます。

デバイスの同期

ew 300/500 G4 シリーズの送信機と受信機は、受信機の赤外線インターフェイスで同期できます。

送信機に伝送するパラメーターは Sync Setting メニューで設定できます。

デバイスは以下のようにして同期させます。

- ▷ 送信機と受信機のスイッチをオンにします。
- ▷ 受信機で **SYNC** ボタンを押します。
受信機のディスプレイに **Sync** が表示され、青色 LED が青く点灯します。



- ▷ 送信機の赤外線インターフェイスを受信機の赤外線インターフェイスの前に置きます。



パラメーターが送信機へと送られます。伝送中青色 LED が点滅します。
転送が完了すると、受信機の画面に完了を示すチェックマークが表示されます。
受信機の画面が現状の標準画面に戻ります。

同期を取り消すには、

- ▷ 受信機で **ESC** ボタンを押します。
画面に **X** が表示されます。

このアイコンは次の場合も表示されます。

- 送信機が認識されないか、送信機が対応していない
- 送信機が認識されておらず、同期プロセスが 30 秒後に自動で終了

プリセットバンク周波数一覧

ゼンハイザーのウェブサイト上ダウンロードページからも周波数プリセットバンク一覧表をダウンロードいただけます。検索バーに ew G4 を入力して検索すると、周波数表が表示されます。

<https://www.sennheiser.co.jp/sen.user.DownloadList.html>

evolution wireless G4 プリセット周波数テーブル

Bank 1	
Channel	
1	806.125 B11

周波数

B型チャネル呼称

Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6	Bank 7	Bank 8	Bank 9	Bank 10
1	806.125 B11	806.375 B12	806.500 B22	806.125 B11	806.250 B21	806.250 B21	806.625 B31	806.125 B11	806.125 B11	806.125 B11
2	806.875 B32	806.750 B41	807.000 B23	806.500 B22	806.625 B31	806.625 B31	807.125 B13	806.750 B41	806.750 B41	807.250 B61
3	807.375 B33	807.250 B61	807.750 B14	807.000 B23	807.125 B13	807.625 B51	807.875 B24	807.250 B61	808.000 B43	808.250 B34
4	807.750 B14	807.625 B51	808.375 B53	807.750 B14	807.875 B24	808.000 B43	808.500 B25	808.000 B43	808.375 B53	808.625 B35
5	808.375 B53	808.250 B34	808.875 B26	808.250 B34	808.375 B53	808.750 B54	809.000 B15	808.625 B35	809.125 B44	808.125 B44
6	808.750 B54	808.625 B35	809.250 B36	808.625 B35	808.750 B54	809.250 B36	809.375 B45	809.125 B44	809.500 B16	809.500 B16
7	809.250 B36	809.125 B44		809.250 B36	809.375 B45	809.625 B55		809.500 B16		
8	809.625 B55	809.500 B16		809.625 B55	809.750 B46					
9										
10										
11										
12										

Channel	Bank 11	Bank 12	Bank 13	Bank 14	Bank 15	Bank 16	Bank 17	Bank 18	Bank 19	Bank 20
1	806.500 B22	806.125 B11	806.125 B11	806.500 B22	806.125 B11	806.125 B11	806.250 B21	806.375 B12	806.125 B11	806.250 B21
2	807.000 B23	806.500 B22	806.500 B22	807.000 B23	806.500 B22	806.500 B22	806.625 B31	806.750 B41	806.500 B22	806.750 B41
3	807.750 B14	807.000 B23	807.500 B42	807.750 B14	807.000 B23	807.000 B23	807.125 B13	807.750 B14	807.000 B23	807.125 B13
4	808.375 B53	807.750 B14	807.875 B24	808.625 B35	807.750 B14	807.750 B14	807.875 B24	808.125 B52	807.750 B14	807.750 B14
5	808.875 B26	808.250 B34	808.625 B35	809.625 B55	808.250 B34	808.750 B54	808.875 B26	808.875 B26	808.750 B54	808.500 B25
6	809.250 B36	808.625 B35	809.125 B44		808.625 B35	809.125 B44	809.250 B36	809.375 B45	809.125 B44	808.875 B26
7		809.250 B36	809.500 B16		809.250 B36	809.625 B55	809.750 B46	809.750 B46	809.625 B55	809.375 B45
8		809.625 B55			809.625 B55					809.750 B46
9										
10										
11										
12										

仕様

EM 300-500 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
受信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750MHz
受信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8 割り当て相互変調なし 6 周波数バンク、最大 32 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
受信方式	トゥルーダイバシティ
Sensitivity (感度) (HDX、ピーク偏差)	52 dBA rms S/N 時、2.5 μ V 未満
隣接チャンネルの選択度	通常 75 dB 以上
変調アッテネーション	通常 70 dB 以上
ブロッキング	75 dB 以上
Squelch (スケルチ)	5 ~ 25 dB μ V、2 dB 刻みに設定可能
Pilot Tone (パイロット トーン) スケルチ	スイッチオフ可能
アンテナ入力	2 BNC ソケット

AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
EQ プリセット (切替可能、ラインとモニター出力で作動) :	
Preset (プリセット) 1 :	フラット
Preset (プリセット) 2 :	-3 dB (180 Hz 時) ローカット
Preset (プリセット) 3 :	-3 dB (180 Hz 時) ローカット / ハイブースト +6 dB (10 kHz 時)
Preset (プリセット) 4 :	+6 dB (10 kHz 時) ハイブースト
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
AF 出力電圧 (ピーク偏差時、1 kHz AF)	6.3 mm ジャックソケット (アンバランス) : +12 dBu BNC ソケット (バランス) : +18 dBu
オーディオ出力レベルの調整範囲	48 dB (3 dB ステップ)

デバイス全体

使用温度範囲	-10 °C ~ +55 °C (14 °F ~ 131 °F)
電源	12 V DC
消費電力	300 mA
寸法	約 202 x 212 x 43 mm
重量	約 980 g

SKM 300 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8 割り当て相互変調なし 6 周波数バンク、最大 32 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	80 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dB
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
入力感度調整範囲	6 dB ステップ 48 dB

デバイス全体

使用温度範囲	-10 ° C ~ +55 ° C (14 ° F ~ 131 ° F)
電源	1.5 V の単三乾電池 2 個 または BA 2015 バッテリーパック
定格電圧	3 V バッテリー / 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力 (公称電圧、 送信機のスイッチがオフのとき、	通常 180 mA ≤ 25 μ A)
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 Ø 50 x 265 mm
重量 (バッテリー込み)	約 390 g

SKM 500 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8 割り当て相互変調なし 6 周波数バンク、最大 32 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	80 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dB
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
入力感度調整範囲	6 dB ステップ 48 dB

デバイス全体

使用温度範囲	-10 °C ~ +55 °C (14 °F ~ 131 °F)
電源	1.5 V の単三乾電池 2 個 または BA 2015 バッテリーパック
定格電圧	3 V バッテリー / 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力 (公称電圧、送信機のスイッチがオフのとき、)	通常 180 mA ≤ 25 μA)
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 Ø 50 x 265 mm
重量 (バッテリー込み)	約 390 g

SK 300 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8 割り当て相互変調なし 6 周波数バンク、最大 32 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	マイクロホン: 80 ~ 18,000 Hz ライン: 25 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
最大入力電圧 マイクロホン / ライン	3V _{eff}
入力インピーダンス マイクロホン / ライン	40 k Ω、非平衡 / 1 M Ω
入力キャパシタンス	切替可能
入力感度調整範囲	3 dB ステップ 60 dB

SK 500 G4

RF 特性

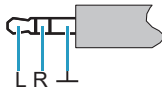
変調	広域帯 FM
送信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8 割り当て相互変調なし 6 周波数バンク、最大 32 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	マイクロホン: 80 ~ 18,000 Hz ライン: 25 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
最大入力電圧 マイクロホン / ライン	3V _{eff}
入カインピーダンス マイクロホン / ライン	40 k Ω、非平衡 / 1 M Ω
入力キャパシタンス	切替可能
入力感度調整範囲	3 dB ステップ 60 dB

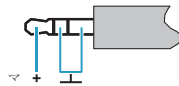
ピン割り当て

3.5 mm ステレオジャックプラグ



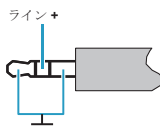
- ヘッドホン、イヤホンケーブル用プラグ、IE 4 等
- 接続先：
 - EK 500 G4

3.5 mm マイクジャックプラグ

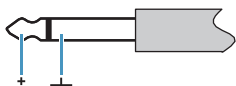


- ラベリアおよびヘッドセットマイク用プラグ、ME 2 等
- 接続先：
 - SK 100 G4
 - SK 300 G4
 - SK 500 G4

3.5 mm ラインジャックプラグ

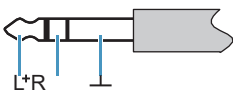


- 接続ケーブル、楽器用ケーブル用プラグ、Ci 1-N
- 接続先：
 - SK 100 G4
 - SK 300 G4
 - SK 500 G4



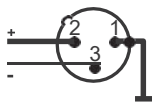
- 接続先：
 - EM 100 G4 オーディオアウト
 - EM 300-500 G4 オーディオアウト

6.3 mm ヘッドホンジャック用ステレोजackプラグ



- 接続先：
 - EM 100 G4 ヘッドホン入力
 - EM 300-500 G4 ヘッドホン入力

XLR-3 プラグ、バランス



電源用中空ジャックプラグ



クリーニングとメンテナンス

evolution wireless G4 シリーズ製品のクリーニングとメンテナンス時には次の点にご注意ください。

注意

製品に液体がかかると電子部品が故障するおそれがあります。

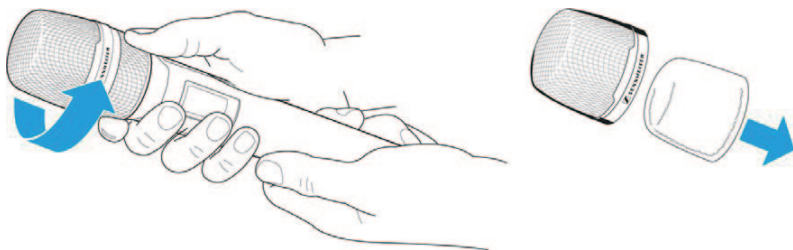
製品のハウジングに液体が入ると短絡を招き電子部品が故障するおそれがあります。

- ▷ 液状のものは製品の近くに置かないでください。
- ▷ 溶剤や洗剤は使用しないでください。

-
- ▷ クリーニング開始前には製品を電源から外し、充電式バッテリーやバッテリーも外してください。
 - ▷ クリーニングには柔らかく乾いた布のみ使用してください。
 - ▷ 次の製品には下記にある特別のクリーニング指示に従ってください。

マイクモジュールのサウンド入力バスケットのクリーニング

- ▷ 上のサウンド入力バスケットを反時計回りにまわしてマイクモジュールから外します。
- ▷ 内部緩衝材を取り除きます。



サウンド入力バスケットのクリーニングには 2 つの方法があります。

- 湿らせた布を用いて、サウンド入力バスケットを内側と外側からクリーニングします。
- ブラシを使い、綺麗な水で拭いてください。
 - ▷ 必要であれば、内部緩衝材を弱い洗剤で拭くか、交換してください。
 - ▷ 上のサウンド入力バスケットと内部緩衝材を乾かします。
 - ▷ 内部緩衝材をもとに戻します。
 - ▷ サウンド入力バスケットをマイクモジュールに戻します。
マイクモジュールのコンタクトは時々クリーニングしてください。
 - ▷ マイクモジュールのコンタクトは柔らかな乾いた布で拭いてください。